※無断での転載、複製は禁止です。

大和市学校教育情報新聞　令和８年(２０２６年)　２月　大和市教育委員会　発行

こども版 まなびやまと

大和市イベントキャラクター ヤマトン

今年度もあと少し！この一年どんな事があったかな

新しい年を迎えました。今の学年クラスでの生活もあと少し。ここでは昨年をふり返り、2025年の3大ニュースを考えてみました。皆さんもこの1年をふり返り、新しい環境で楽しく学ぶ準備をしましょう。

大和市イベントキャラクター「ヤマトン」

一．とにかく暑くて長い夏だった！

昨年も暑くて大変でしたね。市内のある小学校では6月のプール開きの日早々、暑くて熱中症の危険性が高まっているとして、中止になってしまったそうです。大和市では今年度から夏の暑さを予想して夏休みを8月末までとしましたが、その予測のとおり、8月中ずっと暑かったのはもちろん、9月になっても暑さが続きました。10月になってようやく涼しくなり、学校では運動会や文化祭、遠足などの行事を楽しむことができるようになりました。昔から「食欲の秋」や「読書の秋」など、様々な「〇〇の秋」という言葉がありましたが、みなさんはどんな「〇〇の秋」を送ることができましたか。これからは厳しい夏を乗り越えた後に訪れる「秋」を充実させていくことがますます大切になっていくかもしれませんね。

どのくらい変わった？夏の暑さ（横浜）40年前（1985年）との比較

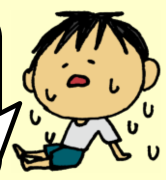
〇ここでは夏の期間を7月・8月とします）

1985年	項目	2025年
0日	35℃以上の日数	12日
44日	30℃以上の日数	53日
29.9℃	最高気温の平均	33.3℃
15日	熱帯夜※の日数	52日

※熱帯夜…最低気温が25℃以上の日

参考：気象庁HP

6月も 30℃以上になった日が 1985年は０日だったのが 2025年は 14日もあったよ。暑い時期がとっても長かったのが分かるね！



「北小まつり」で楽しく体を動かしている様子（北大和小学校）

皆さんの「2025年の思い出」を募集します。学BOXの「教育委員会から」のページから投稿しよう！

こちらからでも投稿できるよ（Chromebookのみ）

二．お米が高騰

ニュースでは毎週5kgあたりの平均店頭価格が報じられるなど、お米の価格の変化に注目が集まりました。お米を作ってくださる農家の方々の苦労も今まで以上に目にすることになり、食の問題について考えた人も多かったのではないでしょうか。

三．大阪・関西万博が開幕！

2025年日本国際博覧会（略称大阪・関西万博）が今年4月13日から10月13日までの計184日間、大阪の夢洲で開かれました。大和市内中学校でも修学旅行で訪れた学校がありました。開幕から閉幕までの入場者数は2557万8986人で、1日の最多入場者数は22万人を9月22日に記録したそうです。大和市の人口が約24.5万人ということを考えるといかに多くの人が訪れたのかが、想像できますね。

大和市立小中学校の活動紹介

大和市イベントキャラクター「ヤマトン」

文ヶ岡小学校「新聞記者になろう」

文ヶ岡小学校では４年生を対象にして、実際に新聞記者としてはたらいている方を講師として招いて、特別授業を行いました。

はじめに講師が自己紹介を行いました。すると早速、記者の素質があるかが問われるクイズが出されました。内容は
①（講師である）私の名前は？
②私が勤めている新聞社は？
などです。児童にとって、今目の前にいる講師は今日初めて会ったばかりの人です。何気なく初めにされた自己紹介の内容をしっかり覚えていたりメモをとったりしている人しか答えることができません。ですが、全問正解している人もいました。とてもすごいことですね。

新聞の読み方や新聞とインターネットの記事の違いなどを勉強する中で、見出しの大切さについてのお話がありました。ここで講師がお話しされていた中から、新聞とインターネットの見出しの違いを紹介します。

新聞ではたくさん載っている情報の内容が一目でわかるように、なるべく見出しで記事のもっとも重要な部分が分かるようにしているそうです。一方、インターネットは買ってもらうことで収益を得る新聞と違い、記事を実際に読んでもらうことで収益を得られるため、見出しで重要な部分は述べず、記事の中身を読みたくなるような言葉を選ぶことを大切にしているそうです。

また、文字数も大事にしているようで、だいたい１２文字にしているとか。

授業の最後には記事に見出しをつけようというテーマに対して、みんなで対話しながら自分の案を一生懸命考えていました。

引地台中学校「５０周年記念行事」

１１月１０日（月）午後、５０周年記念行事が大和スタジアムで行われました。生徒、教職員、保護者、来賓、地域関係者らが集いました。ここでは、式典終了後の在校生の感想を紹介します。

「５０周年という節目に在校生でいられたことを嬉しく思うし、これから通う引中生にも、楽しい学校であってほしい。その為に、まずは校舎を大事にしていきたいと思いました」
「湘南台高校の祝賀記念パフォーマンスがとても素敵でした。引中の卒業生でもある湘南台高校の先輩も言っていたように個性を大切にしていきたいと思いました」

☝電光掲示板に式典名と校章が表示されていました

生徒会長のあいさつ

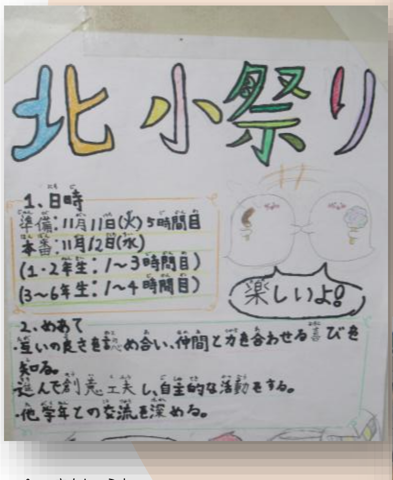
〈引地台中学校校章の由来〉
３本の線は、引地台の名称の由来となっている引地川を表わし、内側が１年生、中が２年生であり、外側の３年生の線がこれを包んでいる。友情の輪を拡げ、学校を創りあげる力を表わしている。
▲『大和の教育　特集号』p.89（平成４年3月、大和市教育委員会）

北大和小学校「北小祭り」

１１月１２日（水）、北大和小学校の全校児童による「北小まつり」が開催されました。３年生から６年生までの各クラスが企画した出し物に学校全体がとても盛り上がっていました。工作をするクラス、クイズ大会を開いているクラス、体を思い切り使うクラスなど様々な創意工夫が見られました。この活動をとおして、クラスの良さを見つけられる素敵な行事だと感じました。

クラスの出し物を運営している児童に話を聞くと、（自分たちの出し物を通じて）楽しんでもらいたいという声が多く聞かれました。

☝体育館で体を動かす様子



☝北小祭りのポスター

工作を楽しむ様子☞

大野原小学校　全員が主役！泉の森で「チャレンジ泉の森」大成功！

１１月２１日（金）、大野原小学校で、１年生から６年生までが一緒に活動する異学年交流イベント「チャレンジ泉の森」が行われました。学年を越えた大きなグループで、学校の近くにある泉の森まで出発！

協力してミッションをクリア！

今回の交流イベントの中心は、運営委員会のお兄さん、お姉さんたち！みんなが楽しめるようにと、色々なゲームを考えていました。泉の森では、大きな縦割りグループに分かれ、運営委員が考えたクイズやゲームに挑戦しました。下級生に優しく声をかけるなど、上級生がリーダーシップを発揮して、みんなで協力する姿がたくさん見られました。参加した６年生は、「最初は緊張したけど、１年生が楽しそうに笑ってくれて嬉しかった！」と、感想を話していました。また、ゲームの後には、森の中で、みんなでワイワイと昼食をとり、さらに仲良くなりました。

次の交流が楽しみだね！

「チャレンジ泉の森」は、学年やクラスの違いを越えて、みんなが一つになれる大切な時間となりました。今回の交流でできた新しい友だちや、協力して何かをやりとげた経験は、きっとみんなの心に残る宝物になるでしょう！

下福田中学校　みんな感動！Ｓ中祭は熱い思いがいっぱい！

１０月２４日（金）、下福田中学校で、全校生徒が力を出し合う「Ｓ中祭」がありました。歌や発表をとおして、日頃の頑張りを先輩後輩がお互いに見せあっていました！

心に響いた歌声！3年生が感動のクライマックス

Ｓ中祭の中心は、クラスごとの合唱の部です。１年生から３年生までが、心を一つにして歌を披露しました。１・２年生は、元気いっぱいのフレッシュな歌声や、まとまりのあるハーモニーを奏でていました。特に感動的だったのは、３年生でした！中学校生活最後のＳ中祭にかける熱い思いが歌声にしっかりと表れ、大きな拍手と感動を呼びました。

自分の考えをしっかり発表！

歌の他にも、弁論（意見を発表すること）大会や英語での発表もありました。それぞれの生徒が、「どうしてだろう？」と疑問に思ったことや、部活動で全国大会に出た経験から学んだことなど、自分の大切な考えをみんなに伝えました。小学校で学んだことを活かし、自分の道を進む中学生の姿はとてもキラキラと輝いていました✨。下福田中学校の先輩たちのように、自分の思いを大切にして、素敵な学校生活を送ってくださいね！

おらが学校
「学校は楽しくなければならない」
大和市立南林間中学校

◇南林間中学校の誕生◇

南林間中学校は昭和56年に鶴間中学校と大和中学校より分離して創立しました。その頃は南林間の地名の通り、周辺にはまだ林が残っており、現在大和西高等学校がある場所もカブトムシやクワガタが捕れる雑木林でした。昭和56年開校当時の生徒数は、新1年生361人を含め878名でした。

◇校章の由来◇

本校の校章は生徒たちのアイデアからという考えにもとづいて全生徒の作品の中から最優秀作品として選ばれたものです。木の葉と南林間という文字をあしらったシンプルなデザインに、美術科の先生が配色し、完成しました。

校章

◇生徒主体の活動 ～行事づくり～◇

南林間中学校の伝統的な行事といえば、運動会と文化のつどいの合唱コンクールが挙げられます。

文化のつどいの合唱コンクールはここ数年大和市文化創造拠点シリウスの大ホールを会場にして開催しています。司会進行は生徒会役員が務め、今年も1年生から3年生まで全20クラスがクラスごとに歌声を響かせました。また、合唱コンクールの後には合唱部と吹奏楽部の発表もあり、会場を大いに盛り上げてくれました。

運動会は赤組・白組・青組の3つの組に分かれての対抗戦となります。運動会の運営は委員会に所属している生徒が中心となって進めており、3年生が全校のリーダーとして1、2年生をリードしています。また、仲間と協力しながら進めていく競技が多く、今年も大縄跳び等の種目で練習から仲間と協力し合い、クラスや学年の絆を深めることができました。

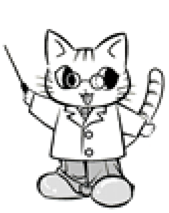
他にも部活動が盛んで、この夏は全国大会出場を果たした男子卓球部をはじめ、多くの部活動が日頃の練習の成果を上げることができました。最後までやり遂げた生徒の皆さんの表情はとても晴れやかで素敵でした。

これからも「学校はみんなが楽しくなければならない」をモットーに、子どもたちが思いやりを持ち、安心して通うことができる学校を目指していきます。

大和市教育研究所の活動紹介
～おもしろ科学館2025～

大和市教育委員会教育研究所では、小中学生の皆さんと関わる活動もしています。今回は、おもしろ科学館2025について紹介します。

おもしろ科学館は、毎年夏と冬に開催していて、今年度は夏のおもしろ科学館2025を8月9日に、冬のおもしろ科学館2025を12月6日に文化創造拠点シリウスにて開催しました。事前応募型のブースは昨年度よりも定員を増やしましたが、それでも3倍を超える応募があり、毎回抽選になっているなど市内多くの皆さんに興味を持っていただいています。また、事前応募せずに当日現地に来て参加していただけるフリーブースについても、約150人の入場者があり、大盛況でした。



今後も、小中学生の皆さんに科学に興味を持ってもらえるよう企画していきますので、多くの参加をお待ちしています。

こども版「まなびやまと」は、開かれた教育行政の一環として、小中学生に向け、本市における各学校の教育活動や教育委員会の事業を、具体的にお知らせしようとするものです。お読みいただき、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

〈お問合せ〉大和市教育委員会　教育研究所046-260-5213